JSP

ミラフォームM1F／M2F／MKS／Λ(ラムダ)二次加工品

ミラフォーム®パネル

ミラフォームパネルとは―ミラフォームM1F/M2F/MKS/Λ(ラムダ)と
各種建築材料とを接着加工した断熱・防露用複合板です。

Gypsum

Plywood

Keikal

Flexible

Mokumoban

ミラフォーム®パネル はミラフォームを基材とした断熱・防露

Gypsum Plywood Keikal Flexible Mokumoban

ミラフォームM1F/M2F/MKS/Λ(ラムダ)と各種内装下地材とを接着加工した断熱・防露用複合板です。

都市再生機構に高く評価されている、後貼り施工に適した工法です

S1工法　ミラフォームパネル後貼工法

各種内装下地材と一体化した「ミラフォームパネル」を採用。PC板や躯体確認の必要なRC面等に最適な後貼り施工が行なえる"S1工法"。この工法は、都市再生機構をはじめ、官公庁にも断熱・防露仕様として採用され、高く評価されています。

ミラフォームパネル品番

- ミラフォームパネルG ⇨ せっこうボード
- ミラフォームパネルP ⇨ ラワンベニヤ合板
- ミラフォームパネルK ⇨ けい酸カルシウム板
- ミラフォームパネルF ⇨ フレキシブルボード
- ミラフォームパネルM ⇨ 木毛セメント板

＋

ミラフォーム®
M1F／M2F／MKS／Λ(ラムダ)

各種内装下地材の規格

品番	内装下地材		厚さ mm
	一般名称	タイプ	
ミラフォームパネルG	せっこうボード GB-R	不燃	12.5
		準不燃	9.5
	シージング　せっこうボード GB-S	不燃	12.5
		準不燃	9.5
ミラフォームパネルP	ラワンベニヤ合板	タイプⅠ　完全耐水	2.5・3.0・4.0・5.5・9.0・12.0
		タイプⅡ　高度耐水	2.5・3.0・4.0・5.5・9.0・12.0
ミラフォームパネルK	けい酸カルシウム板	不燃	5.0・6.0・8.0・10.0・12.0
ミラフォームパネルF	フレキシブルボード	不燃	4.0・5.0・6.0・8.0
ミラフォームパネルM	木毛セメント板	準不燃	15・20・25・30・40・50

＋

ミラフォームの規格

品種	JIS A 9521	厚さ(mm)	幅×長さ(mm)
M1F	XPS1bC	20、25、30、35、40、45、50、75※、100	910×1,820
M2F	XPS2bA	20、25、30、40、50、75※、100※	910×1,820
MKS	XPS3bA	20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、75、90※、100	910×1,820
Λラムダ	XPS3aD	25、30、40、50、55、75、90、100	910×1,820

※販売地域限定または受注生産品です。

パネルです。軽量で断熱・防露工事と内装工事が一度にできます。

ミラフォームの一般性能

項目	条件	単位	M1F	M2F	MKS	ラムダ	測定法
			XPS1bC	XPS2bA	XPS3bA	XPS3aD	
			カットボード	カットボード		カットボード	
熱伝導率	平均温度23℃	W/m·K	0.036以下	0.034以下	0.028以下	0.022以下	JIS A 9521
密度		kg/m^3	20以上	25以上	25以上	25以上	
曲げ強さ	測定温度23℃	N/cm^2	20以上	20以上	25以上	20以上	
圧縮強さ	測定温度23℃（圧縮歪10%）		16以上	18以上	20以上	10以上	
燃焼性	3秒以内に炎が消えて残じんがなく燃焼限界線を越えて燃焼しない	—	合格				
透湿係数	25mm厚50%RH	ng/m^2·s·Pa	145以下	145以下	145以下	145以下	
吸水量	測定温度23℃	g/100cm^2	0.01以下				JIS A 9521（アルコール法）
線膨張係数	-30℃ ～ +30℃	K^{-1}(cm/cm℃)	6～8×10^{-5}				ASTMD696
比熱	測定温度4℃	KJ/kg·K	1.13				ASTMC351
熱変形温度	—	℃	70				JSP法

ミラフォームシリーズ専用接着剤

J-ボンド

一液・無溶剤形変成シリコーン樹脂系接着剤
ミラフォームパネル後貼り工法に使用します。

- 接着性に優れた一液・無溶剤形変成シリコーン樹脂系接着剤です。
- ホルムアルデヒドを含有せず、「安全」、「クリーン」な接着剤です。
- オープンタイプなしですぐ張れ、初期接着性も良好（固着性）で、簡単に施工できます。

商品名	規格	入り数
J-ボンド10	10kg/箱	10kg/箱
J-ボンド1	1kg/本	12本（1kg/本）/箱

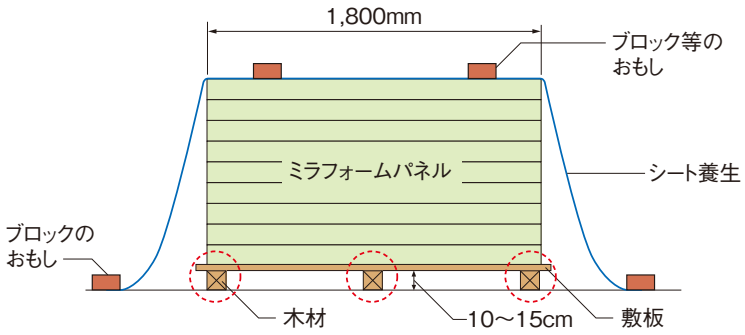
	項　目	J-ボンド	備考
性状	主成分	変成シリコーン樹脂系	
	外観	淡灰色ペースト	目視
	粘度（Pa·s：23℃）	350～600	BS型回転粘度計 ローターNo7、10rpm
	密度（g/cm^3：23℃）	1.42	比重カップ法
	皮張り時間（分：23℃50%RH）	30～50	指触法

S1工法（ミラフォームパネルG　施工例）

●保管上の注意

●ミラフォームパネルは、直射日光の当たらない屋内に取り入れ、直接地面に接しないようパレットまたは木材等を敷き平積みして保管して下さい。ほこり、ごみ等が付着しないようにシートをかけて下さい。

●J-ボンド（ミラフォームパネル後貼用接着剤）は5～35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時まで開封しないで下さい。



●内装制限の対象となる部位に施工する場合の注意事項

ミラフォームパネルの内装下地材は、不燃材料または準不燃材料となりますが、内装制限の対象となる部位に施工する場合は、建築主事等にご確認下さい。

J-ボンド取扱注意事項

使用上の注意

●5℃以上でご使用下さい。
●作業場所はよく換気してください。
●火気を近づけないでください。
●本接着剤は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
●他部材に付着した場合は、硬化する前にウエス等でふき取ってください。
完全にふき取れない場合は、塗料用シンナー等の溶剤を湿らせたウエス等でふき取ってください。
●接着剤を使い切ってから廃棄してください。
●本用途以外には使用しないで下さい。
●パネルの反りが大きいと、パネルのズレ、接着不良等がおきます。その場合はスリットを深めにし、本数を増やす、テープなどで仮止めをするなどの対策が必要となります。
●皮膚に触れると、体質により肌荒れの原因となる場合があります。ゴム手袋などの保護具を使用してください。
●皮膚に触れた場合は速やかに石けんなどを用いて洗い落としてください。
●目に入った場合は水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診断を受けてください。
●取り扱いに関し、詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシートを御請求ください。

ミラフォーム取扱注意事項

●火気厳禁（溶接厳重注意）
火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

●火気注意（保管・換気について）
ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス（発泡剤）が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。

●紫外線注意
直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

●有機溶剤注意
アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

●高温注意
使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。
養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。

●割れ・踏み抜き注意
局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

●強風注意
軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては
飛散防止処置をしてください。

●その他の注意
（1）フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
（2）熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
（3）燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。（廃棄の際は条例に従って処理してください。）
（4）鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部　ホームページ　www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル） TEL 011-231-2681（代） FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング） TEL 022-262-3271（代） FAX 022-266-9583
東日本建築グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル） TEL 03-6212-6362 FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル） TEL 052-962-3225（代） FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル） TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル） TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ

2026.11.0000